

P-TAN (ぴーたん) 「P-TANとは宮園小学校の執行部が不定期に紹介する便りです」

平成25年 PTA スローガン 「まず参加！見せてあげようわたしから」



平成 25 年 11 月 9 日

宮園小学校執行部発行
PTA 会長 山下竜太郎

PTA 執行部の米村です 是非皆さんに読んで頂きたい記事があります・・・

不潔でだらしのない少年と、その少年を疎ましく思う先生 やがて先生の知る真実、そして二人が結ぶ縁とは...
大きな話題を呼んだ感動実話の内容は、月間「致知」2005年12月号の特集テーマとなったものです。

『その先生が5年生の担任になったとき、一人、服装が不潔でだらしなく、どうしても好きになれない少年がいた。
中間記録に先生は少年の悪いところばかりを記入するようになっていた。

あるとき、少年の一年生からの記録が目にとまった。「朗らかで、友達が好きで、人にも親切。勉強もよくでき、将来が楽しみ。」とある。
間違いだ。他の子の記録に違いない。先生はそう思った。

二年生になると、「母親が病気で世話をしなければならず時々遅刻する。」と書かれていた。

三年生では、「母親の病気が悪くなり、疲れていて、教室で居眠りをする。」
後半の記録では、「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる。」とあり、

四年生になると「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり子どもに暴力をふるう。」



鈴木秀子先生

先生の胸に激しい痛みが走った。ダメと決めつけていた子が突然、深い悲しみを生き抜いている生身の人間として自分の前に
立ち現われてきたのだ。先生にとって目を開かれた瞬間であった。

放課後、先生は少年に声をかけた。

「先生は夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強をしていかない？分からないところは教えてあげるから。」

少年は初めて笑顔を見せた。それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。授業で少年が初めて手をあげたとき、先生
に大きな喜びがわき起こった。少年は自信を持ち始めていた。

クリスマスの午後だった。少年が小さな包みを先生の胸に押し付けてきた。あとで開けてみると、香水の瓶だった。亡くなったお母さん
が使っていたものに違いない。

先生はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。雑然とした部屋で独り本を読んでいた少年は、気がつくやうに飛んできて、先生の胸に顔を
うずめて叫んだ。「ああ、お母さんの匂いだ！きょうはすてきなクリスマスだ。」

六年生では、先生は少年の担任ではなくなった。卒業の時、先生に少年から一枚のカードが届いた。「先生は僕のお母さんのようです。
そして、いままで出会った中で、一番素晴らしい先生でした。」

それから六年。またカードが届いた。「明日は高校の卒業式です。僕は五年生で先生に担当してもらってとても幸せでした。おかげで奨学金
をもらって医学部に進学することができます。」

十年を経て、またカードが届いた・・・そこには先生と出会えたことへの感謝と、父親に叩かれた体験があるから、患者の痛みが分かる医者
になれると記され、こう締めくくられていた。

「僕はよく、五年生の時の先生を思い出します。あのままだめになってしまう僕を救ってくださった先生を、神様のように感じます。
大人になり、医者になった僕にとって最高の先生は、五年生の時に担任してくださった先生です。」

そして一年。届いたカードは結婚式の招待状だった。
鈴木秀子先生「母の席に座ってください。」
と一行、書き添えられていた。』

【編集後記】

私は PTA 執行部も 3 年目になりこのたび「ぴーたん」の担当をさせていただくことになりました。

執行部に関わることで感じたことがあります・・・私は仕事を二つもっており、仕事のスケジュールがかなりハードで執行部の集まりにもなかなか参加できない・・・そんな状況がずっと続いております。ただそんな中でも、執行部として楽しく小学校行事にはできる限り参加させていただいております。それは執行部に関わっている方々がとても楽しい方が多いからなのです。関わる前までは、PTA 執行部と聞いただけで、頭が堅い、話がまとまらない、面倒くさい、というイメージでしたが実際参加してみると、まったくそんなことはありませんでした。みんなで学校がよくなるように、子供たちが安全に楽しく学べる場になるように、話し合い、意見を出し合い、工夫し合う、それが執行部です。毎年メンバーは変わっていきませんが、貴重なご縁と経験をさせていただける PTA 執行部に感謝いたします。

.....

言葉は言霊

私たちがいつも口にする言葉が、私たちの気持ちと生活にどれぐらい影響を与えるか、あなたをご存知でしょうか？

あなたは自分がよく使う言葉に気づいていますか？

口だけではなく、無意識的に頭の中で考えてしまう言葉はありませんか？

言語は自分と他人の気持ちをコントロールできるのです。一見さりげない一言でも、その一日が晴れるか曇るかが決まるものです。

ポジティブな言葉はポジティブな行動をもたらし、結果的にポジティブな生活につながります。

逆にネガティブな言葉はネガティブな結果を生み出します。

私たちは普段の言葉遣いをコントロールすることができたら、ムードをポジティブに維持でき、いい結果がうまれる可能性も高くなるのです。

☆プラス言葉とマイナス言葉

ポジティブな言葉

- ・嬉しい
- ・楽しい
- ・ツイてる
- ・元気
- ・愛してる
- ・大好き
- ・ありがとう

ネガティブな言葉

- ・疲れた
- ・やめたい
- ・出来ない
- ・いやだ
- ・嫌い
- ・無理
- ・最悪



子どもをマイナス言葉で否定状態におけば、子どもの反応は**マイナス**になります。

子どもをプラス言葉で肯定状態におけば、子どもの反応は**プラス**になります。

出来るだけプラスの言葉を使いましょう！

- ・あなたはきつとうまくいくから！
- ・必ず出来るよ！
- ・今日もツイてる！ツイてる！
- ・周りにはステキな人がいっぱいいる！
- ・ホントに楽しい！

最後に・・・

学校は知識を学ぶ場でもあり、心も学ぶ場です。

大人になり社会で悩む方の多くが人間関係で悩むのです。

子どもには学校生活で友達との付き合いかた、上級生や下級生との付き合いをしっかりと学んでもらい、親がいつも見守っているよという姿を子どもに見せてあげて子育てを楽しんでください！ 子育ては親育て・・・親が子どもに育てられているのですから・・・

